

令和7年度大分県学力定着状況調査結果分析と改善方策について

宇佐市教育委員会

小学校 国語

(1) 偏差値及び正答率

偏差値	知識	活用
宇佐市	51.6	52.8
大分県	50.7	51.2

正答率	知識	活用
目標値	69.4	58.1
宇佐市	72.6	66.0
大分県	70.9	61.8

(2) 観点別・領域別正答率

	観点		領域					
	知識・技能	思考・判断・表現	言葉の特徴や使い方に 関する事項	情報の扱い 方に関する事項	我が国の 言語文化に 関する事項	話すこと・ 聞くこと	書くこと	読むこと
目標値	70.0	63.0	70.6	70.0	65.0	71.7	55.8	65.8
宇佐市	72.9	68.9	73.5	79.4	61.4	73.7	68.1	67.3
大分県	71.9	65.3	72.7	73.5	62.9	75.5	59.3	66.2

(3) 結果のポイント

- 偏差値(知識・活用)は50を上回っている。また、正答率(知識・活用)も県平均を上回っている。
- 観点別正答率(知識・技能)(思考・判断・表現)は県平均を上回っている。領域別正答率では、「情報の扱い方に関する事項」「書くこと」については、県平均を大幅に上回っている。しかし、「我が国の言語文化に関する事項」「話すこと・聞くこと」については、県平均を下回った。

(4) 授業の改善ポイント

【言葉の特徴や使い方に 関する事項】

- 学習した漢字の反復練習や既習の漢字を各教科や日常生活の中で使い、語彙を増やす。
- 漢字の持つ意味を考えながら文章の中で正しく使うことができるよう指導する。また、長期記憶につなげるために、読書活動の充実も図っていく。

⇒【復習、練習】

【書くこと】

- 筆者の主張や主題を考えながら、事柄の内容を関連付けて考えることができるように、文章の組み立てを試行錯誤するような活動を取り入れる。
- 文章の内容をまとめる活動を取り入れるときには、選んだ事柄が、自分の考えの理由や事例としてふさわしいかどうか吟味したり、友だちと読み合って確認したりする活動を行う。

⇒【自力解決、集団解決】

(1) 偏差値及び正答率

偏差値	知識	活用
宇佐市	53.7	52.6
大分県	51.8	51.5

正答率	知識	活用
目標値	68.5	59.4
宇佐市	76.7	67.6
大分県	72.6	64.1

(2) 観点別・領域別正答率

	観点		領域			
	知識・技能	思考・判断・表現	数と計算	図形	変化と関係	データの活用
目標値	68.5	59.4	68.6	62.2	63.3	61.7
宇佐市	76.6	67.6	76.3	71.1	69.9	74.6
大分県	72.3	64.8	73.0	66.8	66.2	70.4

(3) 結果のポイント

- 偏差値（知識・活用）は50を上回っている。また、正答率（知識・活用）も県平均を上回っている。
- 観点別・領域別正答率は、すべての項目で目標値も県平均も上回っている。

(4) 授業の改善ポイント

- 今後も宇佐市小・中学校授業の流れシートを活用した授業改善に取り組む。

(1) 偏差値及び正答率

偏差値	知識	活用
宇佐市	52.3	52.3
大分県	51.5	50.8

正答率	知識	活用
目標値	68.5	46.7
宇佐市	73.0	49.1
大分県	71.4	45.3

(2) 観点別・領域別正答率

	観点		領域	
	知識・技能	思考・判断・表現	物質・エネルギー	生命・地球
目標値	66.8	54.6	56.1	67.0
宇佐市	71.1	57.8	58.7	72.0
大分県	69.0	55.2	56.2	69.9

(3) 結果のポイント

- 偏差値(知識・活用)は50を上回っている。また、正答率(知識・活用)も県平均を上回っている。
- 観点別・領域別正答率は、すべての項目で目標値も県平均も上回っている。

(4) 授業の改善ポイント

【生命と地球】

- 模型や実際の動作を観察する機会を取り入れるなど、視覚的に理解ができるようにする。
⇒【課題把握、自力解決】 ★実際の観察ができない場合 → ICT、図書教材等を活用

【物質とエネルギー】

- 金属を温めたり、冷やしたりしたときの体積の変化に着目して、それらと温度の変化とを関連付けて、金属の温度変化に伴う体積の変化を調べさせていく。
- 問題解決の学習活動を次のように展開させていく。
 - ・ 児童が見いだした問題に対して、既習の内容や生活経験をもとに予想させる。
 - ・ 予想や仮説を確かめるための観察や実験の方法を考えさせる。
 - ・ 得られた実験の結果をもとに考察し、結論を導き出させる。
 ⇒【課題把握、自力解決、集団解決、振り返り】

(1) 偏差値及び正答率

偏差値	知識	活用
宇佐市	51.1	51.3
大分県	51.5	51.2

正答率	知識	活用
目標値	66.8	50.0
宇佐市	71.5	57.4
大分県	72.4	57.1

(2) 観点別・領域別正答率

	観点		領域					
	知識・技能	思考・判断・表現	言葉の特徴や使い方に 関する事項	情報の扱い 方に関する事項	我が国の 言語文化に 関する事項	話すこと・ 聞くこと	書くこと	読むこと
目標値	66.0	58.3	67.5	50.0	70.0	68.3	53.3	58.3
宇佐市	67.7	66.6	69.2	51.1	72.4	77.6	66.8	60.8
大分県	70.7	65.4	72.6	52.0	74.6	76.6	64.5	60.8

(3) 結果のポイント

- 偏差値(知識・活用)は50を上回っている。正答率(活用)は県平均を上回っている。
- 観点別・領域別正答率では、(思考・判断・表現)「話すこと・聞くこと」「書くこと」において、県平均を上回っている。しかし、(知識・技能)「言葉の特徴や使い方に
関する事項」については、県平均を下回っている。

(4) 授業の改善ポイント

【言葉の特徴や使い方に 関する事項】

- 漢字の書き取り学習だけでなく、漢字の部首や意味、文章中での使い方にも関連付けながら、学習していく。また、長期記憶につなげるために、読書活動の充実も図っていく。
- ⇒【復習、練習】

(1) 偏差値及び正答率

偏差値	知識	活用
宇佐市	49.8	39.8
大分県	49.5	39.9

正答率	知識	活用
目標値	50.3	41.7
宇佐市	49.8	39.8
大分県	49.5	39.9

(2) 観点別・領域別正答率

	観点		領域	
	知識・技能	思考・判断・表現	地理	歴史
目標値	48.5	46.3	49.3	45.7
宇佐市	48.8	43.8	48.7	44.6
大分県	47.8	44.7	48.5	44.4

(3) 結果のポイント

- 偏差値(知識・活用)は50を下回っている。正答率(知識)は県平均を上回っている。
- 観点別・領域別正答率では、(知識・技能)「地理」「歴史」において、県平均を上回っている。しかし、(思考・判断・表現)については、県平均を下回っている。

(4) 授業の改善ポイント

【地理】

- 地図帳等を活用し、緯線や経線の理解をもとに、地図の読み取り方を確認する。
⇒【自力解決、集団解決】
- ・「複数の資料をもとに考察」できるよう、資料からわかることを読み取り、整理してまとめる学習活動を仕組む。
⇒【集団解決、まとめ】
- ・重要語句や出来事などの基礎知識は、一問一答形式の復習(学習用アプリ)で確実な定着を図る。
⇒【復習、練習】

【歴史】

- 歴史上の出来事や人物についての知識だけでなく、時代背景や政策を前後の出来事と関連付ける。
・当時の様子やその政策に至った原因やその政策によって何が変化したのかなどを関連付けたり、図や表にまとめたりする活動を取り入れる。
⇒【自力解決、集団解決、まとめ】

(1) 偏差値及び正答率

偏差値	知識	活用
宇佐市	51.3	50.2
大分県	50.9	50.2

正答率	知識	活用
目標値	60.9	42.9
宇佐市	60.3	37.1
大分県	59.3	36.9

(2) 観点別・領域別正答率

	観点		領域			
	知識・技能	思考・判断・表現	数と式	図形	関数	データの活用
目標値	59.3	51.5	62.0	60.0	50.0	50.0
宇佐市	59.0	46.6	62.6	54.9	47.7	49.3
大分県	58.0	46.1	61.3	54.9	47.5	47.5

(3) 結果のポイント

- 偏差値(知識・活用)は50を上回っている。また、正答率(知識・活用)も県平均を上回っている。
- 観点別・領域別正答率も、「図形」以外の項目で県平均を上回っている。

(4) 授業の改善ポイント

【図形】

- 図や表に表し、問題を可視化させる。
⇒【自力解決、集団解決】
- 図形の学習では、立体を自分で書いたり、作ったりして空間図形のイメージを持たせる。また、ICTを活用した学習も取り入れる。⇒【自力解決】

【データの活用】

- 目的に応じて資料を収集して整理し、情報を適切に読み取ったり、視点を変えてまとめ直したりして、事柄の特徴を捉える授業を仕組む。(ICTを効果的に活用する等)
⇒【集団解決】

(1) 偏差値及び正答率

偏差値	知識	活用
宇佐市	50.1	50.2
大分県	50.8	50.4

正答率	知識	活用
目標値	52.0	48.0
宇佐市	54.3	46.1
大分県	55.8	47.9

(2) 観点別・領域別正答率

	観点		領域			
	知識・技能	思考・判断・表現	エネルギー	粒子	生命	地球
目標値	50.3	51.3	47.1	57.0	55.0	41.9
宇佐市	55.1	48.3	41.9	58.3	68.2	35.9
大分県	56.4	50.2	43.8	60.0	67.7	39.4

(3) 結果のポイント

- 偏差値(知識・活用)は50を上回っている。正答率(知識・活用)は県平均を下回っている。
- 観点別・領域別正答率は、「生命」以外の項目で県平均を下回っている。

(4) 授業の改善ポイント

- 観察や実験で生徒の興味を高め、なぜそうなるのかを根拠をもとに話し合ったり、またその根拠が正しいかを検証したりする活動を仕組む。
⇒【自力解決、集団解決】
- 実験等では、既習の内容や経験をもとに予想や仮説を立て、それを確かめるための観察や実験の方法を考えさせる。
⇒【自力解決、集団解決】
- 実験結果について見通しを持ち、結論が生活の中でどのように活かされているのかを見つける活動を取り入れる。
⇒【集団解決、振り返り】
- 学習内容を定着させるための工夫を行う。(小テスト、家庭学習、学習用アプリ)
⇒【復習】
- 観察や実験を行い、結果をもとに考察する時間を十分に確保するとともに、考察したことや結論を表現できるように指導する。(ワークシートの穴埋めではなく、自分の言葉で記述できるようにする)
⇒【自力解決、集団解決】

(1) 偏差値及び正答率

偏差値	知識	活用
宇佐市	48.5	47.5
大分県	50.0	48.9

正答率	知識	活用
目標値	53.5	47.7
宇佐市	48.1	41.7
大分県	51.4	45.6

(2) 観点別・領域別正答率

	観点		領域		
	知識・技能	思考・判断・表現	聞くこと	読むこと	書くこと
目標値	55.6	47.0	60.6	50.8	44.0
宇佐市	50.1	41.2	58.3	43.7	37.1
大分県	53.4	45.1	58.1	47.0	44.4

(3) 結果のポイント

- 偏差値(知識・活用)は50を下回っている。正答率(知識・活用)は県平均を下回っている。
- 観点別・領域別正答率は、「聞くこと」以外の項目で県平均を下回っている。

(4) 授業の改善ポイント

【読むこと・聞くこと】

- 本時のめあてに沿った言語材料(単語や語句・文・表現)について十分聞かせる。
(例)教師とALTの会話を聞く
- 十分慣れ親しませた後、アウトプットさせる。(全体、個人、ペア)
- イラストや映像等の教材(ICT教材)を多用し、音声化させる。(音読できる)
- 絵の入った言語材料を絵と文字を手がかりに意味を推測させる。(内容理解できる)
- 話されることの全てではなく、聞き手として目的に応じて知りたいことや欲しい情報など「必要な情報」を聞き取る力を身に付けさせる。
⇒【自力解決、集団解決、振り返り】

【書くこと】

- 本当に自分が伝えたいことを、既習の言語材料を用いて自分の言葉で書く活動を取り入れる。
- 「日常的な話題」について、自分が伝えたいことや情報、考えたことや感じたことなどを明らかにし、それらを整理した上で、内容的にまとまりのある文章を書くことを身に付けさせる。
⇒【自力解決、集団解決、振り返り】
- 意味の伝達において語順が重要な役割を担っていることから、語の配列等の特徴を日本語との比較の中で捉えさせていく場面を設定する。
⇒【自力解決、集団解決】
- ・ 音声と文字を結びつけるため、イラストや映像等の教材(ICT教材)を多用し、身近で簡単な語句の意味がわかるようにする。
⇒【自力解決、振り返り+復習】

【小学校 質問紙 分析】 令和 7 年度大分県調査

◎全国を5ポイント以上上回る項目 ※数値は肯定値（良好な回答の合計）

番号	質問	宇佐市	全国	全国との差
1	学校での日々の授業や活動の中で、自分は人間として成長したな、少し大人になれたな、と感じることがありますか。	82.1	76.5	5.6
2	あなたは、ものごとを最後まであきらめずにやりぬく方ですか。	88.8	79.7	9.1
3	夢中になった、勉強が面白いと思った、やる気が出た、という記憶に残っている授業がありますか。	79.1	71.2	7.9
4	友だちの意見を聞いて新しいことに気づいたり、自分の考えが深められたりして、勉強って面白いと思うことがありますか。	79.8	69.6	10.2
5	あなたの発言は、クラスのみなを動かす力があると思いますか。	56.4	49.1	7.3
6	近所の人に会ったときは、あいさつをしていますか。	88.8	77.2	11.6
7	あなたは、友だちの表情などから今の心を思いやり、自分だったらどうしてほしいか、それをよく考えてから行動する方ですか。	84.7	79.3	5.4
8	友だちとけんかをしてしまったあと、仲直りするために、自分から行動する方ですか。	86.9	79.9	7.0
9	あなたは、学校生活の中で何回ぐらい、自分の意見を発表したり、先生の質問に答えたりしていますか。（1時間の授業で1回以上）	56.0	46.4	9.6
10	小さい子や、お年寄りが困っているときは、まよわず手助けしていますか。	84.5	75.6	8.9
11	ニュースなどで、戦争や災害、貧しさで苦しんでいる人々を見ると、心が痛みますか。	91.5	85.0	6.5
12	朝は自分で起きていますか。	71.7	62.5	9.2
13	学校に持っていくものは、前の日のうちに確かめていますか。	76.9	71.1	5.8
14	勉強するときは、自分で計画を立てていますか。	62.8	51.5	11.3
15	テストで間違えた問題は、あとでやり直していますか。	90.7	78.7	12.0

▲全国と5ポイント以上差があり、課題が見られる項目 ※数値は肯定値（良好な回答の合計）

番号	質問	宇佐市	全国	全国との差
1	読書はどれくらい好きですか。（あまり、まったく好きではない）	33.5	23.3	10.2
2	理科の勉強はどれくらい好きですか。（あまり、まったく好きではない）	32.6	23.8	8.8

○全体的に「自己肯定感」「社会参画」「生活習慣」の肯定値が高い。

○学習意欲に関する項目では、「勉強するときは、自分で計画を立てている」「テストで間違えた問題は、あとでやり直しをしている」など学習習慣の定着が結果に結びついている。

▲読書の愛好度が低い傾向にある。

▲その他の回答で課題が見られる項目

1	平日（月～金）、1日どれくらいの時間、テレビや動画を見たり、インターネットを使ったり、ゲームをしたりしますか。	3時間くらい・・・ 18.6% 昨年度より3.9%増 4時間以上・・・ 24.3% 昨年度より4.6%減
---	---	---

○昨年度に比べ、4時間以上の児童の割合が減ったが、平日に3時間、4時間以上テレビや動画、インターネットを使ったゲームに時間を費やしている児童が40%以上になり、長時間の使用は昨年度同様、課題である。

小中連携したメディアコントロールの取組を推進するとともに、家庭や地域の協力が不可欠である。

【中学校 質問紙 分析】 令和 7 年度大分県調査

◎全国を5ポイント以上上回る項目 ※数値は肯定値%(良好な回答の合計)

番号	質問	宇佐市	全国	全国との差
1	自分なりにがんばったことを、先生が認めてくれて、うれしかったことがありますか。	89.2	79.9	9.3
2	あなたの気持ちをわかろうとしてくれている先生がいますか。	91.2	83.0	8.2
3	あなたは、ものごとを最後まであきらめずにやりぬく方ですか。	78.5	72.0	6.5
4	夢中になった、勉強が面白いと思った、やる気が出た、という記憶に残っている授業がありますか。	71.6	62.7	8.9
5	近所の人に会ったときは、あいさつをしていますか。	90.2	71.9	18.3
6	あなたは、学校生活の中で他の人が発言したり、発表したりするときに、質問をしていますか。	35.8	29.6	6.2
7	今のクラスが好きですか。	93.6	88.1	5.5
8	信じていた友だちから、思いもよらぬ言葉を聞かされたり、つらい態度をとられたりして、傷ついたことがありますか。(一度もない、けんかしても傷つかない)	67.2	59.9	7.3

▲全国と5ポイント以上差があり、課題が見られる項目 ※数値は肯定値(良好な回答の合計)

番号	質問	宇佐市	全国	全国との差
1	スマートフォンや携帯電話などで、友だちとメールや SNS (LINE) でのやり取りをすることがありますか。(毎日ひんばん)	58.7	50.7	8.0
2	読書はどれくらい好きですか(あまり、まったく好きではない)	45.5	21.4	24.1
3	国語の勉強はどれくらい好きですか(あまり、まったく好きではない)	49.5	40.0	9.5

○「おもいやり」「社会参画」「学習意欲」の肯定値が高い。

▲読書の愛好度が低い状況にある。

▲その他の回答で課題が見られる項目

1	平日(月～金)、1日どれくらいの時間、テレビや動画を見たり、インターネットを使ったり、ゲームをしたりしますか。	3時間くらい・・・ 27.9% 昨年度より1.3%増 4時間以上・・・ 33.4% 昨年度より8.6%増
2	学校の授業以外に、平日1日どれくらい勉強しますか。	まったくしない・・・ 11.0% 昨年度より5.7%減 30分くらい・・・ 24.1% 昨年度より7.6%増 1時間くらい・・・ 39.6% 昨年度より8.8%増

▲平日に3時間、4時間以上テレビや動画、インターネットを使ってのゲームに時間を費やしている生徒が60%以上で、長時間の使用は昨年度同様、課題である。小中連携したメディアコントロールの取組を推進するとともに、家庭や地域の協力が不可欠である。

▲「学校の授業以外で平日1日どれくらい勉強しますか。」に関しては、「全くしない」「30分くらい」「1時間くらい」と回答した生徒が74.7%となり、生徒の7割以上が、学習内容を定着するために必要な家庭学習が十分にできていない。